
「中下位頸椎における椎間関節ロッキングを伴う脱臼に対する非観血的整復困難の予測因子：後方視的コホート研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、【埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、このたび、当院で診察を行った患者さんの画像検査結果や診療記録を用いた以下の研究を実施いたします。画像検査やカルテ情報等を使用することに同意できない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2017年01月01日から2025年6月30日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、中下位頸椎における椎間関節ロッキングを伴う脱臼と診断され、検査を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

中下位頸椎における椎間関節ロッキングを伴う脱臼は、重篤な脊椎損傷であり、神経損傷を引き起こします。初期治療としては、頭蓋牽引による非観血的整復術が一般的に行われますが、特定の損傷パターンでは高い整復失敗率が報告されています。

本研究では、OE型損傷、椎間関節骨折、両側椎間関節ロッキングといった形態学的因子に着目し、非観血的整復失敗の独立した予測因子を明らかにすることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2030年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年9月4日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

当院救急搬送時から退院までの間の画像検査、受傷時の年齢、性別、基礎疾患、神経診察所見などの診療記録を用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である河本 昌雄が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患

者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

中下位頸椎における椎間関節ロッキングを伴う脱臼と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・ 埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 河本昌雄（研究代表者）

研究実施者：高度救命救急センター 助教 医師 景山貴史

研究実施者：高度救命救急センター 講師 医師 高橋翼

研究実施者：高度救命救急センター 講師 医師 八幡直志

研究実施者：高度救命救急センター 講師 医師 上田泰久

研究実施者：高度救命救急センター 講師 医師 森井北斗

研究実施者：高度救命救急センター 教授 医師 井口浩一

研究実施者：高度救命救急センター 教授 医師 澤野誠

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 河本昌雄

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3755（土日祝日を除く 9：00～17：00）

○研究課題名：中下位頸椎における椎間関節ロッキングを伴う脱臼に対する非観血的整復困難の予測因子：後方視的コホート研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 河本昌雄